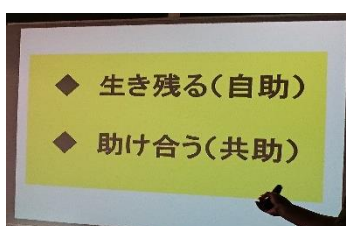
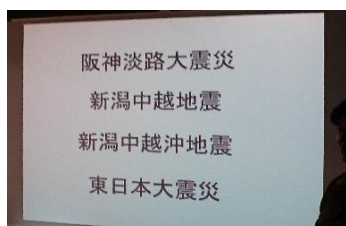


「災害時の対応と安全確保」(セーフティ教室)

安全指導 社会 総合 キャリア

講師 防衛省 自衛隊 東京地方協力本部 江東出張所 職員

- ② 自衛隊の組織の話から始まり、直近の熊本地震時にとった災害派遣時救済行動の講話
- ② 四つの地震に派遣された隊員の方から、派遣時の救済活動を詳細に解説
- ③ 今後発生したときの対応、自助・共助に関する話



【生徒の感想文から】

- 自分の事は自分で守り、隣の人を助けるということを学びました。そのことで大勢の人達の命が助かることが分かった。
- 今度の道徳の学習で、自衛隊の人はがんばっているということが分かり、勉強した事を普通に生かせばよいと思った。
- 生きる(自助)、助け合う(共助)を学びました。災害に会った時は、まず自分の身を守り、周りの人を助けることを覚えた。
- 自衛隊は自分の命をかけて人を助けるのを感じた。日本は地震が多いので、日頃から自分達の命を守ることの大切さを感じ、これからの訓練はもっと真剣に取り組みたい。
- 自衛隊の仕事は人を助けることだけではなく、災害地行きごはんを作り、被災した方々に配る活動をしている事を知った。
- 知らなかったことがたくさん聞けて楽しかったし勉強になった。実際の話を知ると過酷、大変だなと思いました。
- 自助・共助、私達が今までにやってきた避難訓練がいざという時大事なことだと思った。災害が起きた時、救助、支援が一番できるのが自衛隊、災害が発生して72時間以内に少しでも多くの人を救助することが必要と学んだ。
- 災害の救済にあたった体験談を聞いて、自衛隊の方の「一人でも多くの人を救いたい！」そんな強い気持ちが伝わってきました。おじいちゃんが元海上自衛隊員で話は聞いていたが、今日聞いた話では色々な思いを聞け、良い経験でした。
- 今回の授業で訓練の大切さを改めて感じました。今後しっかりと生かして行きます。

【担当の先生から】

- 過去の大震災時の救助の様子の画像など、生徒の興味を引くものがあり良かった。
- 「自助・共助」と言うキーワードを教えていただき分かりやすかった。語り口調も明るく楽しく、生徒も入りやすかった。
- 見せて頂いた画像もお話の内容も印象強かったようで、とてもよくお話を聞いていました。
- お蔭さまで、その後の校外学習への良い導入となり大変有意義な学習とすることができました。